



金 建 第 5 4 号
平成19年 5月 2日

国土交通省 道路局長 殿

金ヶ崎町 高橋 由



中期的な計画の作成に当たっての意見の提出について

このことについて、別紙のとおり提出しますので、よろしくお取り計らい願います。

中期的な計画の作成にあたって（意見）

金ケ崎町は、早くから整備された岩手県内最大の工業団地「岩手中部（金ケ崎）工業団地」を有しております。

工業出荷額は県内1番の規模（約4,100億円）に達しており、地域経済の活性化や雇用の機会の創出に貢献しております。

また、当町はこれまでに蓄積された地域産業資源を活用した新事業創出を促進する地域として、高度技術産業集積地域にも位置づけられています。

今後も、活力ある地域経済・魅力ある都市づくりの形成を図るため、産業活動と地域活動の両面に渡り、重要度と優先度を考慮して、以下の意見を重点とし、効果的な道路整備を国・県・関係機関の御指導のもとに推進していきたいと思っております。

①. 一般国道4号の4車線拡幅整備について

一般国道4号は金ケ崎町において、隣接する北上市、奥州市水沢区をはじめとする南北方向の主要都市とを結ぶ、基幹的な産業道路としての機能を担っている最重要路線です。

金ケ崎町は県内最大規模とされる岩手中部（金ケ崎）工業団地を有し、町内製造品出荷額等は平成17年時点で、岩手県下1番の規模（約4,100億円）に達しており、工業団地内の従業員数は約6,049人（内町内雇用1,178人）であります。

また、通勤者の状況をみますと、流入者が約6,000人、流出者が約3,100人であり合計約9,100人が通勤として1日に移動しており、流入者の7割弱が北上市及び奥州市水沢区からの通勤者で占められている状況です。

さらに、今後の町内工業生産の動向については、同工業団地内に立地している自動車一貫生産体制を敷く企業の生産規模拡大が見込まれ、同工業団地を核とした活発な広域的産業活動が期待されるところです。

平成16年9月には、三ヶ尻荒巻地内にイオン金ヶ崎ショッピングセンターが開店したことによる交通量増加と県立金ヶ崎高校生等の通学における影響が顕著に表れており、今後の国道4号沿線開発の進展とともに、更なる交通渋滞が懸念されることです。

こうした状況下、国土交通省の岩手河川国道事務所では、北上金ヶ崎インターチェンジ入口交差点から岩手中部（金ヶ崎）工業団地北側入り口までの区間を、事業採択した北上事業区の関連区間として位置づけ工事実施について検討していると聞いております。

就労の場の維持・拡大を図り、地域産業経済の活性化を促進するためには一般国道4号の機能強化が不可欠です。

つきましては、特にも県立金ヶ崎高等学校北側交差点から北上市相去町笹長根地内までの早期事業化について特段のご高配を賜われますようお願い申し上げます。

②. 一般県道北上 水沢線の歩道施設整備事業の促進について

本路線は、北上市と奥州市水沢区を結ぶ主要地方道としての役割を担っています。特に、岩手中部（金ヶ崎）工業団地への就業者の通勤、資材製品の搬出入、更には国道4号を迂回して利用する長距離貨物の通行等により年々交通量が増加している現状であり、加えて北上金ヶ崎インターチェンジにより、広域生活圏道路としてますます重要な機能を果たす路線となっています。

併せて、当町は製造品出荷額の順調な推移に見られるように、工業団地内企業の堅調な企業活動に支えられ、通勤及び業務用車両の往来により交通量が増加しております。更に関東自動車工業株式会社岩手工場において、新ラインの建設が完成し約30万台体制の車両増産体制に移行したことにより、1,000人規模の従業員の増加が見込まれ更なる交通量の増加が予想されるところです。

従来の要望に係る急勾配、S字カーブの解消及び歩行者の安全確保による歩道設置につきまして採択を賜り衷心より厚くお礼申し上げますところであります。

なお、本路線は国道4号に次ぐ交通量の多さとなっておりますので、一日も早く交通難所の解消を図るとともに、町立第一小学校の通学児童生徒の安全確保並びに物流路線として安全で快適な道路交通の確保のため県道の改築整備が急がれております。

つきましては、下記事項の早期整備の促進について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

③. 一般県道胆沢 金ヶ崎線、久田 笹長根線の歩道施設整備事業の促進について

近隣市町村との連結機能を有し、通勤・通学等で交通量の増加が目立つ一般県道胆沢 金ヶ崎線、久田 笹長根線については、歩行者の安全確保のため、歩道設

置等を県に対し粘り強く要望します。

④. (仮称) 新金ヶ崎大橋の新設について

江刺区と金ヶ崎町を結ぶ金ヶ崎橋(県道江刺金ヶ崎線上に位置)は、生活路線、産業路線として地域に密着した路線として重要な役割を果たしています。

しかし当該橋梁は、幅員が狭いうえ歩道がないことから、車両とすれ違う歩行者や自転車等による通行が非常に危険であり不便をきたしている現状です。

また、築橋から40年余りが経過し、近年老朽化が目立ってきたなか、平成15年5月に発生した三陸南地震の影響により橋桁に異常が生じ、平成17年6月の復旧までの長期間にわたり交通規制が敷かれ危険な状態におかれたことは、道路交通の安全面に不安を抱えるとともに、市町を結ぶ生活・産業道路機能の脆弱さを危惧したところです。

同路線の岩手銀行金ヶ崎支店前交差点においては、幅員が狭く産業用車両の運行に支障をきたしており、本来であれば幅員の拡幅を必要とするところですが、金ヶ崎橋から県道沿い一帯は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、産業用車両の円滑な運行よりもむしろ保存地区の環境整備が望まれるところです。

江刺区、金ヶ崎町両市町の産業ネットワーク路線及び生活路線は、両市町の産業の興隆に呼応して現在重要な役割が求められています。

つきましては、都市計画道路 中江甫鶴ヶ岡線延長線上から一般県道江刺金ヶ崎線への接続路線として、(仮称) 新金ヶ崎大橋の新設をいただき、新たな県道ルートの設定に特段のご高配を賜われますようお願い申し上げます。

なお、新ルート設置までの措置として、重要伝統的建造物群保存地区を往来する歩行者等の安全で快適な交通空間の創出のため金ヶ崎橋に歩道を設置していただきますよう重ねて特段のご高配をお願い申し上げます。

⑤. 岩手中部工業団地等関連 町道南花沢 前野線の4車線整備について

岩手中部（金ヶ崎）工業団地には、集積回路、医薬品等の高度技術産業や北海道・東北唯一の自動車組立工場が立地操業しております。なかでも、関東自動車工業株式会社岩手工場においては、年間生産台数を20万台から36万台体制に移行することにより従業員等が増加し、大型産業用車両の通行が大幅に増加しております。

工業団地の基幹道路となっている町道南花沢・前野線は、北上金ヶ崎 IC または水沢 IC から工業団地へのアクセスが良く、従業員の通勤や大型車による部品原材料搬入、製品出荷等により多くの交通量を抱えており、同路線の早期4車線化を切望するところであります。

現在、県道胆沢 金ヶ崎線交差点から工業団地内ロータリーに至る延長3,240mの区間の4車線化に向け事業着手しておりますが、整備には多額の費用を要することから国・県の支援なしでは早期実現が困難な状況にあります。

つきましては、町道南花沢・前野線の4車線整備について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

⑥. 和光 大谷地線、都市計画街路大平前野線の整備について

和光 谷地線及び都市計画街路大平 前野線に関しては、生活基盤道路と位置づけた重要路線と考えており、大平 前野線は、平成17年度に工事着手しており、本年度は金ヶ崎小学校から南側を整備予定としております。

⑦. 広域農道「(仮称) 栗原 北上線」の一括県道昇格について

国道4号線に次いで交通量が多い広域農道「(仮称) 栗原 北上線」の一括県道昇格を、岩手県及び宮城県に働きかけて参ります。

⑧. 町道の維持管理と除雪体制の維持について

地区住民から要望されている道路維持管理は、限られた予算の中から実施することから、費用の面で維持・修繕等が思うように進まない状況であり、住民の維持管理に対するニーズへの早急な対応は難しい現状にあります。

また当町は、豪雪地帯に位置し、降雪による交通渋滞や交通事故の防止、地域活動の安全確保のため、住民との協働による除雪の実施と除雪委託業者と一体になった除排雪業務や防雪柵の設置に努めてはおりますが、業者の除雪からの撤退による除雪体制の崩壊が懸念されることから、除雪体制の構築並びに将来に向けての体制維持を早急に検討する必要があります。

これらの維持管理を継続的にまた早急に行うために、除雪を含めた町道の維持管理に要する費用の国庫補助を切に要望いたします。